

北部運動広場人工芝化等工事の概要について

事業の経緯と目的

- 令和元年東日本台風災害で福島スポーツ広場が冠水し、施設内の芝生広場をはじめマレットゴルフ場などに土砂が堆積し大きな被害を受けた。
- 2019年12月21日付けで須坂市スポーツ協会他5団体から「被災したスポーツ施設の復旧に関する要望書」。須坂市スポーツ協会及び須坂市サッカー協会から「人工芝の多目的屋外運動場の整備に関する要望書」が市に提出された。
- 施設の稼働期間は、天然芝生の場合は、維持管理日や養生、冬期間を除く50日程度で、人工芝の場合は、年間を通して利用が可能である。
また、度重なる水害により、復旧までに時間を要し利用機会が失われていることから、利用団体からもスポーツ活動としての利用機会を増やしてほしい旨の要望が急増した。
- これを受けて、芝生広場を天然芝として整備した場合と他の場所を人工芝として整備した場合の20年間の維持管理費等の経費等について検討した結果、福島スポーツ広場以外の場所を人工芝として整備した方が優位であるとの結論に達した。
- 事業補助財源として、日本スポーツ振興センター及び日本サッカー協会からの助成金を要望することとした。
- 以上のことから北部体育館に隣接している既存の北部運動広場を人工芝の多目的広場とすることにより、サッカーをはじめ、野球、運動会等の利便性が高まり、スポーツ振興とひいては防災機能の充実を図るため、人工芝の多目的運動広場としての整備を決定した。
- 北部運動広場の人工芝選定にあたっては、マイクロプラスチックの流出を可能な限り少なくし、環境負荷を軽減するため、耐久性や温度抑制効果の高い素材を選定し、雨水排水にマイクロプラスチックの流失を防ぐため、集水枡へのフィルター設置など対策を講ずるものとした。

工事概要

- 人工芝敷設面積:12,258 平方メートル
- サッカーコート:105×68メートル1面(うち少年用サッカー50×68メートル2面)
- フットサルコート:40×20メートル2面

- 野球兼ソフトボールのクレール内野部分の整備 1 面

工事請負金額

174,460,000 円

工事期間

2021 年(令和 3 年)8 月 20 日から 2022 年(令和 4 年)1 月 31 日